平成 29 年度

体育研究所だより

第 79 号

平成29年3月に小学校・中学校次期学習指導要領が公示されました。小学校では32年度から、中学校では33年度からの全面実施に向けて、30年度から移行期間となります。高等学校においては、29年度中に公示、34年度からの年次進行となる予定です。

今回の改訂により、体育科・保健体育科において「体育や保健の見方・考え方を働かせる」ことを通して、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力が示され、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善が求められています。

本所といたしましては、基本研修や専門研修の内容はもとより、多様な課題に応じたきめ細かな学校支援などの充実を図り、各学校現場における先生方の教育活動をお手伝いしていきたいと考えています。

また、「鍛えて、ほめて、子どもの可能性を伸ばす」をコンセプトとした福岡県独自の指導方法である「鍛ほめ福岡メソッド」を取り入れた調査研究「『運動』を通した鍛ほめプロジェクト」に本年度から着手し、運動と学習の相関に視点をおいた運動プログラムの開発にも取り組んでいます。

今後も、国や県の動向を見据えた情報の整理、発信に努めるとともに、本県の体育・スポーツ、健康教育の充実・発展に寄与できるよう、所員一同、一層努力してまいりますので、関係各位の御支援・御協力をお願いいたします。

福岡県体育研究所　所長　**稲富 勉**

専門研修（短期研修）講座　（各1日）

平成29年度 講座の様子

新講座開設！
体育に苦手意識のある先生大集合！

主な講師

春日 晃章先生

寺山 由美先生

澤江 幸則先生

細越 淳二先生

「体育は苦手。でも、子どもたちに運動の楽しさを味わわせたい！」という先生方、お気軽に御参加ください。授業づくりの基本を研修しましょう！

平成30年度 講座案内

対象	講座名	期日	講師
幼　小	運動的な遊び・運動遊び	7月30日（月）	岐阜大学　教授　春日 晃章
小　特	体つくり運動	7月27日（金）	安田女子大学　教授　徳永 隆治
	体育の授業づくり（2日とも同一内容）	7月30日（月）	国士舘大学　教授　細越 淳二
		7月31日（火）	
	ゲーム・ボール運動（ゴール型）	8月28日（火）	立命館大学　教授　大友 智
	ゲーム・ボール運動（ネット型＋ベースボール型）	8月29日（水）	立命館大学　教授　大友 智
	新講座！「体育の授業づくり」	9月26日（水）	日本体育大学　教授　白旗 和也
小中特	器械運動	7月31日（火）	宮崎大学　教授　三輪 佳見
中高特	体育の教材づくり	7月24日（火）	香川大学　准教授　米村 耕平
	体つくり運動	10月11日（木）	日本体育大学　教授　近藤 智靖
	球技（ゴール型＋ネット型）	7月26日（木）	群馬大学　准教授　鬼澤 陽子
	体育理論	7月　3日（火）	東海大学　准教授　大越 正大
	陸上競技	8月　1日（水）	愛媛大学　准教授　日野 克博
	ダンス	6月28日（木）	筑波大学　准教授　寺山 由美
	体育のアクティブ・ラーニング	10月　3日（水）	桐蔭横浜大学　教授　佐藤 豊
小中高特	特別支援ニーズのある子どもからみた体育授業の進め方	8月　9日（木）	筑波大学　准教授　澤江 幸則
	体力向上マネジメント	8月　3日（金）	岩手大学　准教授　清水 将
	保健の学習指導	8月　7日（火）	兵庫教育大学　教授　西岡 伸紀
	健康教育	9月27日（木）	聖心女子大学　教授　植田 誠治
養	養護教諭の資質向上	7月24日（火）	国際医療福祉大学　教授　荒木田 美香子
教職員一般	トレーニング指導	10月24日（水）	アシックスジャパン株式会社 社内公認インストラクター　西 基世美

専門研修（断続研修）講座（年間12日）

■保健体育研修講座

著名な外部講師による講義・演習や３回の授業研修、小・中・高・特別支援学校の異校種での系統性を考えた授業づくりを学び、個人の研究を深めました。

■養護教諭研修講座

多様化・深刻化している児童生徒の健康課題解決に向けて、組織的な学校保健活動を展開するための方策を実践的に学びました。また課題研究にも取り組み、専門性や実践指導力の向上に努めました。

長期派遣研修　（1年間）

小学校において、自ら意志決定を行いながら３つの資質・能力を効果的に身に付ける「主体的に運動に向かう」力を育てるために、運動領域と保健領域を関連付け、子どもの運動に対する願いを喚起し、維持し、強化するための学習過程の構築を図ってきました。

中学校においては、学習したことを実生活や実社会に生かせるよう「運動に対する深い学び」を育てることを目指し、子どもの思考を意図的に働かせ、学んだ知識や技能を他の場面で活用できるような学習の転移を促す学習過程の可能性を探ってきました。

高等学校においては、「する、みる、支える、知る」の多様な関わりの中から「運動やスポーツを楽しむ」ことができる生徒を目指し、体育理論と運動領域を関連付けた単元構成の工夫を通し、運動やスポーツの価値や特性に着目させながら知識をつなぐ学習指導の在り方を追究してまいりました。

研究の成果については、２月16日（金）に行われた「福岡県体育・スポーツ研修報告会」において報告いたしました。

■平成 29 年度 長期派遣研修

小学校　**主体的に運動に向かう子どもを育む体育科学習指導**
～運動領域と保健領域を関連付けた学習過程の工夫を中心に～
糸島市立福吉小学校　教諭　辻 聡一郎

中学校　**運動に対する深い学びに向かう生徒を育てる保健体育科学習指導**
～学習の転移を促す思考フローを導く学習過程を通して～
苅田町立新津中学校　教諭　向野 文章

高等学校　**運動やスポーツを楽しむことができる生徒を育てる保健体育科学習指導**
～知識をつなぐ単元構成を通して～
福岡県立小郡高等学校　教諭　藤崎 厚志

基本研修

＜小・義務教育・特別支援学校＞
初任者研修　（2日）｜10年経験者研修（1日）

＜中・義務教育・特別支援学校＞
初任者研修　（2日）｜10年経験者研修（3日）

＜県立学校等＞
初任者研修　（10日）｜5年経過研修　（2日）
2年経過研修　（1日）｜10年経験者研修（3日）

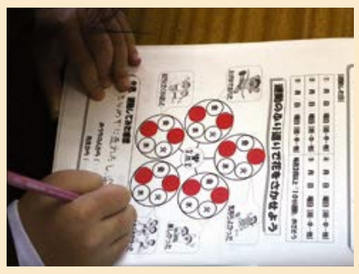
＜養 護 教 諭＞
新規採用研修　（7日）｜10年経験者研修（3日）
5年経過研修　（5日）｜

調査研究事業

「『運動』を通した鍛ほめプロジェクト」

福岡県独自の指導方法として全県的に広く展開している「鍛えて、ほめて、子どもの可能性を伸ばす『鍛ほめ福岡メソッド』」に基づく調査研究として、「『運動』を通した鍛ほめプロジェクト」を、本年度から３年間で進めています。この「『運動』を通した鍛ほめプロジェクト」は、学ぶ意欲、自尊感情、チャレンジ精神、勤勉性、困難に立ち向かう心などの「子どもが自律的に成長するための人格的資質」を育成し、「学力」「体力」「豊かな心」を培うために、子どもが目標を自己決定し、適度に困難な目標に向かって楽しみながら自力解決に挑み、その過程や結果を振り返って周りの人から認められるという一連の「運動プログラム」を実践し、その効果を検証していくものです。現在、県内６校の小学校を研究協力校として、運動プログラムの具体的実践を行っていただくとともに、学識経験者を中心としたリサーチグループによるデータ分析等を行っています。

今後は、研究協力校の実践結果をもとに、学ぶ意欲や自尊感情等への効果のみならず、体力向上や学力向上への効果について分析・整理をすすめ、その成果を県内へ発信してまいります。



ホームページ

ホームページでは、主な事業内容を中心に情報を掲載しています。ぜひ御活用ください。

〈調査研究事業〉
過去の調査研究をまとめた研究報告書をダウンロードできます

〈研修事業〉
専門研修講座、基本研修、長期研修等の内容を紹介しています

オリンピック・パラリンピック教育（オリ・パラ教育）of福岡

平成27・28年度の調査研究事業「オリンピック・パラリンピック教育（オリ・パラ教育）of福岡」（平成29年3月）では、「オリ・パラ教育」の価値や取り組む際のポイント等を分析・整理しました。「オリ・パラ教育」を始める際の手がかりとして５つのテーマを設定し、そのテーマごとの実践事例とポイントを提案しております。

この「オリ・パラ教育of福岡」の内容は、本所ホームページで御覧いただけます。各学校において実践する際に、ぜひ御活用ください。

学校等への支援活動

体育研究所では、学校や体育・保健体育に関する研究団体・サークル等を支援するために次のような活動を行っています。お気軽に御相談ください。

○研修会等への指導主事の派遣及び講師の紹介
○体育・スポーツに関する資料、視聴覚教材の収集及び貸出
○来所、電話等による相談への対応
○カリキュラム作成（教科等）に関する支援

※申し込みはお電話ください。
平成 29 年度支援回数 293 回（H30・3 月現在）

体育研究所への交通アクセス

バスをご利用の場合
○JR 博多駅 バスターミナル 14 番乗り場から
37、39、39－B のバス ……約 20 分
（アクシオン福岡前下車）
○福岡空港 地下鉄４番出口　福岡空港前バス停から
37、38、39 のバス…… 約７分
（アクシオン福岡前下車）

車をご利用の場合
○JR 博多駅から ……約 20 分
○福岡都市高速道路から
福岡方面から：
月隈ランプ出口を降りて ……約６分
太宰府方面から：
金の隈ランプ出口を降りて ……約９分

発行：福岡県体育研究所　〒812－0852福岡市博多区東平尾公園2丁目1－4　電話 (092) 611－0220　FAX (092) 611－1747　E-mail：taiikukenkyusho@pref.fukuoka.lg.jp